

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第57回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第151回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第152回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第153回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第57回総会議事録

日時:2022年5月24日(火) 12:30-13:30

場所:オンライン開催

正会員数:597名

定足数:60名

参加人数:85名(投票時参加人数は101名)

委任状:66通(議長:63通, 中村 昭子会員:1通, はしもと じょーじ会員:1通, 保井 みなみ会員:1通)

1. 開会宣言

保井総務専門委員長が開会を宣言.

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に野口 里奈会員, 書記に田畑 陽久会員が選出された.

3. 議事

3.1. 審議事項

- ・ 第16期上期(2021年度)活動報告(中村会長)

日本地球惑星科学連合2021年大会, 日本惑星科学会2021年秋季講演会の参加者数および発表数, 学会誌の発行状況, 最優秀研究者賞および最優秀発表賞の受賞者, 各種セミナーやシンポジウムの開催状況, 学会運営などの説明がなされた.

- ・ 第16期下期(2022年度)活動計画(中村会長)

現在開催中の日本地球惑星科学連合2022年大会, 開催予定の秋季講演会, 学会誌の発行予定, 各種セミナー

や実習会の開催予定等の説明がなされた。

- ・ 第16期上期(2021年度)会計決算報告(佐伯財務専門委員長)
第16期上期の一般会計・特別会計の決算報告についての説明がなされた。新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催とした2021年秋季講演会について、暫定的に黒字収支となったことが報告された。黒字分は暫定的にプール金とし、今後オンライン開催の場合でも秋季講演会の収支0を目指すことが報告された。
- ・ 会計監査報告(小河会計監事)
収支決算に誤りのないことが報告された。
- ・ 事務局移行作業に伴う学会会則の改定について(保井総務専門委員長)
事務局移行作業の一環として学会のゆうちょ口座を新規開設し、それに伴って会則の変更が必要であることの説明がなされた。会則の変更は第150回運営委員会で承認済みであり、詳細は該当議事録に記載されていることが報告された。
- ・ その他
特になし。
- ・ 質疑応答及び討論
第16期上期会計決算報告の秋季講演会の収入および支出の金額はイベントペイの手数料を差し引いた金額であるかとの質問があった。
佐伯財務専門委員長より、手数料を差し引いた金額であることが説明された。
- ・ 採択
審議事項の採決が行われ、賛成: 162(うち出席者96名)、反対: 0、保留: 1(うち出席者1名)により採択された。

3.2. 報告事項

- ・ 第16期下期(2022年度)予算執行状況(佐伯財務専門委員長)
第16期下期予算は予算通り執行されていることが報告された。
- ・ 2021年最優秀研究者賞受賞者発表(中島学会賞選考委員長)
兵頭 龍樹会員(JAXA/宇宙科学研究所)と巽 瑛理会員(カナリア天体物理学研究所/Instituto de Astrofísica de Canarias)の両名に授与されることが発表された。
- ・ 2022年秋季講演会開催案内(百瀬2022年秋季講演会組織委員)
2022年秋季講演会の実施案についての報告がなされた。
開催期間は9/20-22とし、現状、対面(会場:茨城大学)+オンラインのハイブリッド開催を予定している。
口頭発表は会場またはZoomを選択したうえ、会場の発表をZoomで配信する。ポスター発表はSlackへのアップロードに加えて、会場にて掲示スペースを用意し、ポスターコアタイムも設ける。
発表受付および参加費支払期間は6/24-8/26、発表申込期間は6/24-7/15の予定。支払にはイベントペイを使用する。

口頭発表希望多数の場合は抄録を参考に口頭／ポスターの振り分けを行う。

- ・各種専門委員会・作業部会等報告(各種委員会委員長・部会長)
- ・学生発表賞の新設について(田中学会賞検討作業部会長)
従来の最優秀発表賞に加えて、新たに優秀発表賞を若干名に授与することが報告された。
選考は従来通り特別選考セッションにて行い、副賞は賞状のみとする。優秀賞の受賞は一度のみとし、再受賞は行わない。2022年秋季講演会から実施予定。
 - ・質疑応答及び討論
新設する優秀発表賞の授与人数は具体的に何名程度を想定しているのかとの質問があった。
田中学会賞検討作業部会長より、具体的な人数は現時点では未定であり今後実施する中で調整してゆく方針であることが説明された。
- ・月惑星探査アーカイブサイエンス拠点今年度事業の説明(出村会員)
月惑星探査アーカイブサイエンス拠点の下半期(2022-2025年度)の予算公募の説明がなされた。
上半期同様の萌芽研究(40万円/件)および実用研究(400万円/件)に加えて、新たに海外招聘共同研究1-2件と海外旅費助成数件の公募を行う。
公募は6月初旬から1ヶ月程度の予定。
- ・その他
 - ・事務局の現在の暫定的な体制について(中本事務局体制検討作業部会長)
2022年3月にイーサイド社への委託終了以降の暫定的な事務局の体制について説明がなされた。
2022年4月からは個人に委託しており、2024年3月まで同様に委託予定。2024年4月以降の体制は今後議論して決定する。

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

保井総務専門委員長が閉会を宣言。

以上

◇日本惑星科学会第151回運営委員会議事録

期間:2022年 4月26日(火)~4月29日(金)

運営委員会委員:

出席(23名)

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 白井 寛裕, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席(なし)

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす。

議決方法:上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票。

議題:

2022年秋季講演会にて、以下のような一般講演会の実施を行いたく、その実施案について承認を求める。

提案内容:

日時:9月23日午後 ザ・ヒロサワシティ会館小ホール

テーマ:「水惑星の誕生:その起源と条件を探る」

講演者(依頼承諾済み):

生駒 大洋氏(自然科学研究機構国立天文台科学研究部・教授)

中村 智樹氏(東北大学大学院理学研究科・教授)

審議結果:

議題は原案のとおり承認された(可 23・否 0)。

以上

◇日本惑星科学会第152回運営委員会議事録

日時:2022年5月23日(月)18:30-20:30

場所:オンライン開催

運営委員:

出席者20名

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席者3名

千秋 博紀, 関 華奈子, 白井 寛裕

(委任状:会長2通)

オブザーバー:

黒崎 健二(2022年連合大会プログラム委員), 北里 宏平(総務専門委員)

議題・報告事項:

1. 日本地球惑星科学連合:プログラム委員会(黒崎 連合大会プログラム委員)

・2022年大会では「惑星科学」,「惑星火山学」,「宇宙・惑星探査の将来計画及び関連する機器開発の展望」の3セッションが学協会セッションに登録された。

・次期プログラム委員に門屋 辰太郎会員(正)と伊藤 祐一会員(副)が推薦され、承認された。

2. 2021年度最優秀研究者賞について(中島 2021年学会賞選考委員長)

- ・7名応募のうち1名が資格を満たさなかったため、6名に対して選考を行なった。
- ・選考委員会からの推薦に基づき、兵頭 龍樹会員と巽 瑛理会員の兩名を受賞者として決定した。

3. 最優秀研究者賞受賞資格の緩和について(奥住 運営委員)

- ・若手の多様なライフプラン・キャリアプランに配慮し、最優秀研究者賞の受賞資格条件を緩和する旨の提案がなされた。
- ・出産、育児、介護による研究の中断期間については配慮することが認められた。
- ・民間就職や浪人期間などの扱い方については次回の運営委員会で継続審議することとした。

4. 最優秀発表賞の改訂案について(田中 学会賞検討作業部会長)

- ・現行の最優秀発表賞は受賞者数が1, 2名と他学会の同様な学生賞に比べて少ない。
- ・質の高い発表を幅広くエンカレッジするため、最優秀発表賞に加え、若干名の優秀発表賞を新設する旨の提案がなされた。
- ・採決の結果、賛成多数により提案は可決された。2022年秋季講演会から適用する。
- ・内規の改訂については作業部会で再度検討した上で、改めて審議することとした。

5. 2022年秋季講演会について(百瀬 2022年秋季講演会組織委員長)

- ・会期は2022年9月20日(火)から22日(木)までの3日間。23日(金・祝)に一般講演会。
- ・会場は茨城県水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館。
- ・実施形態は対面とオンラインのハイブリッド。
- ・6月24日(金)から参加・発表申込み受け付けを開始する。
- ・口頭発表希望多数の場合、抄録をもとに発表形態を実行委員会で判断。
- ・参加者はオンライン・実体を問わず、事前登録が必要。当日の現地対応は原則行わない。
- ・玄田委員より2023年秋季講演会の検討状況について報告がなされた。
- ・藪田委員を組織委員長として広島市内にて開催。

6. 第16期上期決算(佐伯 財務専門委員長)

- ・ほぼ予算案通りに執行し、監査も終えている。
- ・各種イベントがオンラインとなり、支出が少なかった。
- ・サーバ移行費用の追加により、事務局関連の管理費が例年と比べて30万増。

7. 第16期下期予算執行状況(佐伯 財務専門委員長)

- ・収入、支出ともに、ほぼ予算案通り。
- ・事務局体制移行のため、レンタルオフィス代や税務処理などの支出項目が追加。
- ・今年も匿名の方から10万円の寄付金を頂いた。

8. 日本惑星科学会サーバへの事務局メール用smtpサーバ機能の追加について(荒川 情報化専門委員)

- ・事務局体制移行に伴い、レンタルサーバおよびドメイン保守の契約を2021年末に切り替えた。
- ・事務局スタッフが学会サーバの個人メールアドレスを使えるようにするため、サーバ機能の追加を調整依頼してい

る。

- ・作業費の支出を伴うことを承認した。

9. 学術会議の大型研究計画策定について(竝木 副会長)

- ・マスタープランから未来の学術振興構想(仮称)に変更となったことについて説明がなされた。
- ・学術研究構想と学術振興の「ビジョン」をセットで提案することが求められている。
- ・提案者が学会である点は従来と変わらない。
- ・荒川将来構想検討作業部会長よりマスタープランのフォローアップ会議の開催報告がなされた。
- ・「国際宇宙探査計画と連動した火星宇宙天気・気候・水環境探査(MIM)」、「惑星科学コンソーシアム」、「惑星科学、生命圏科学、および天文学に向けた紫外線宇宙望遠鏡計画」の3提案について意見交換を行なった。
- ・学術会議から正式に公募が出た時点で、新たに学会内に再公募をかけるかどうかを検討する。
- ・新しい公募の内容を検討して、3提案の扱いを決定する。

10. 惑星探査専門委員会からの報告(関根 惑星探査専門委員長)

- ・来る10年について各パネルのロードマップの議論がひと段落した。
- ・夏頃に第一段階を終える予定で作業を進めている。

11. 事務運営体制について(中本 事務局体制検討部会長)

- ・2022年4月から事務運営を新体制に移行した。
- ・2023年までは現体制を維持。2024年以降については年内を目処に案を出す。

12. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

- ・つつがなく発行できている。特集「新・惑星形成論」を2号にわたって掲載。
- ・J-STAGE Dataに参加する旨の提案がなされ、承認された。
- ・遊星人の投稿規定にプレプリントサーバに関する説明事項を追記する旨の提案がなされ、承認された。
- ・遊星人の記事に著者の簡単なプロフィール(希望者は顔写真も)を掲載する旨の提案がなされ、承認された。

13. 第16期上期活動報告、第16期下期活動計画(保井 総務専門委員長)

- ・総会で提示する活動報告と活動計画の内容について説明がなされた。

14. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)

- ・会員数に大きな変動はないことが報告された。

15. 第57回総会の議長・書記の推薦について(保井 総務専門委員長)

- ・議長に野口 里奈会員、書記に田畑 陽久会員が推薦され、承認された。

16. 学会賞選考委員の入れ替え(保井 総務専門委員長)

- ・次期選考委員に寺田 直樹会員(委員長)、成田 憲保会員、三浦 均会員、白井 寛裕会員、黒川 宏之会員、古川 善博会員、鈴木 絢子会員、樫村 博基会員の8名が推薦され、承認された。

17. 事務局移行作業に伴う会則改定について(保井 総務専門委員長)

- ・第150回運営委員会にて承認された会則改定について説明がなされた。

18. その他

・大竹委員より月惑星探査アーカイブサイエンス拠点の公募事業について報告がなされた。

以上

◇日本惑星科学会第153回運営委員会議事録

期間:2022年6月9日(木)~6月15日(水)

議題:最優秀発表賞内規の改訂案について

運営委員会委員:

出席(23名)

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩,
関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 白井 寛裕,
倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席(なし)

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす。

議決方法:上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票。

議題:

最優秀発表賞の改訂(優秀発表賞の新設)に伴う内規改訂について、以下のように改訂案を提案し、その承認を求める。

議案:

背景:

第151回運営委員会にて学会賞検討部会より、最優秀発表賞に加えてそれに準ずる優秀発表賞の新たな設置について、説明があった。

議論の後、採決が行われ、その結果、賛成14名、中立5名、反対0名により、設置が決定した。

その決定に伴い、最優秀発表賞内規の改訂が必要となったため、改訂案を部会で検討した。その改訂案について、承認を求める。

日本惑星科学会最優秀発表賞内規改訂案

当該内規の第1, 2, 3条を以下のように改訂する。

・第1条(目的)末尾に、以下の1文を追加:

また、最優秀発表賞に準ずる賞として日本惑星科学会優秀発表賞を設ける。

・第2条(受賞資格)に、以下の項目4を追加:

4. 優秀発表賞については、最優秀発表賞または優秀発表賞を受賞していない者・第3条(賞)の項目 1,2,4 を、以下のように変更:
1. 最優秀発表賞受賞者は毎年2名以内とし、優秀発表賞受賞者は毎年若干名とする
 2. 最優秀発表賞は賞状と副賞を授与し、優秀発表賞は賞状を授与する
 4. 最優秀発表賞受賞者は、受賞対象の研究解説を会誌「遊・星・人」に掲載する

(内規改訂案全文は日本惑星科学会ホームページの会員ページに掲載された添付ファイルを参照のこと)

審議結果:

議題は原案のとおり承認された(可 23・否 0).

以上

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2022年7月29日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所, (b) 主催者, (c) ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2022/9

2022年9月27日(火)-9月29日(木)日本流体力学会 年会2022

- (a) 京都大学 吉田キャンパス 本部構内
- (b) (一社)日本流体力学会
- (c) 日本流体力学会年会2022実行委員会(E-mail:jsfm2022@nagare.or.jp)